

なんびう

2011年5月1日
第19号



平成23年4月1日辞令交付式の様子です。

目 次

■ 県立日南病院の皆さんへ	1
■ 看護部就任あいさつ	2
■ 高血圧について	3
■ 原発事故による住民の不安・恐怖心を取りのぞく	4
■ はじめまして!そしてお久しぶりです。	5
■ 宮崎県病院事業中期経営計画の概要について	6
■ 医療機器について	7
■ 23年度の当院の主な動きについて	8
■ 外来診療日程表	9

日本医療機能評価機構(一般病院)認定病院

県立日南病院

〒887-0013 宮崎県日南市木山1丁目9番5号

TEL 0987-23-3111

FAX 0987-23-5142

<http://www.pref-hp.nichinan.miyazaki.jp/>

Eメール:nichinan-hp@pref.miyazaki.lg.jp

県立日南病院職員の皆さんへ

院長

長 田 幸 夫

昨年度の宮崎県は「口蹄疫」「高病原性鳥インフルエンザ」「新燃岳の噴火」というトリプルパンチに襲われその後遺症はしばらく続きそうですが、日本は東日本大震災とそれに続く福島第一原発の事故という太平洋戦争以来の危機に見舞われ宮崎県のトリプルパンチは忘れられそうになっています。大震災からの復興はやっと緒につき優秀な民族の日本人がすることですからそれほど時間を置かず立ち直るでしょうが、原発事故のほうは現時点では先行きが見えず大変心配されるところです。

さて、県立病院の経営改善を目指して、平成18年度から取り組んできた中期経営計画は昨年度で終了しました。この計画の目標達成に向けて職員の皆さんには懸命な努力をして頂いたところですが、最終年度に黒字転換という大きな目標は達成出来ませんでした。しかし赤字幅のかなりの圧縮ができ償還前黒字という結果も得られ、かなり健闘したと考えています。

今年度から、3年間の第2期中期経営計画が新しく始まりますが、皆さんには計画の内容を十分理解していただき一人一人が当院を支えていることを意識し、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

この新しい中期経営計画は、「県民にとって魅力ある病院づくりの推進」「職員が一丸となった病院改革の推進」「経営改善の更なる推進」という3つのテーマが基本となっています。「県民にとって魅力ある病院づくり推進」では何よりも医療スタッフの確保が重要となり、またそれぞれが専門性を新たに取

得あるいはさらに高める必要があります。また患者本位の医療の提供、地域の中核病院としての機能の充実を図るための地域医療支援病院の承認取得、救急医療体制の充実、安心・安全な医療の提供、情報提供の推進が求められます。「職員が一丸となった病院改革の推進」では、経営情報等の共有化、経営改善意識の高揚、チーム医療の推進を掲げています。「経営改善の更なる推進」では、経営改善推進体制の強化、収益の確保、経費の節減、積極的かつ柔軟な医療資源の投入等による経営改善、病院局組織内連携の強化が求められます。

こうした3つの課題に職員全員が真剣に取り組み、経営基盤のしっかりした日南病院がこの地域での中核病院としてその使命を十分に果たせる事を願っています。

日本の経済は東日本大震災と福島第一原発問題で当分の間低迷するでしょうし、その上に宮崎県は「口蹄疫」「鳥インフルエンザ」「新燃岳」の後遺症を引きずっていますが、多くの人々が優秀な日本人の団結を信じていますし、必ずや短期間のうちに復興して世界を驚かすに違いありません。我々は、国に対して、県に対して、病院に対して、何が出来るかを考え、まずは出来ることから始めましょう。

看護部就任あいさつ

看護部長

土肥 早苗

平成23年4月より看護部門に就任致しました。

私は県北の延岡出身で、長年、助産師・看護師として県立病院で勤務してまいりましたが、日南病院への就任は初めてであり、日南と決まった時に知人より「日南は美味しい魚が食べられるよ。」と異口同音に言われ食べ物を楽しみに参りました。温厚な日南の方々の人柄に触れ、日南の生活を楽しめそうです。

延岡と日南の往来は自動車を利用しており、日南海岸あるいは北郷町経由とその日の気分や状況で決め、景色を堪能しながら（勿論、安全運転ですよ。）運転しています。現在は、高速道路無料化の試験中で助かってます。

当院も宮崎市や串間市などからの通勤者が多くなり、自動車通勤者がこのように毎日通勤してるんだと私も体験し、交通事故の報告がないようにと祈っている毎日です。

少子高齢化・疾病構造の変化・患者ニーズの多様性など医療を取り巻く環境は厳しく、看護職にも多くのことが求められるようになりました。

県立日南病院は南那珂地区の中核病院であり、地域住民の県立病院に対する期待は大きいものがあると思っています。

病院の基本理念（患者本位の病院・高度で、良質な医療を目指す病院・地域社会に貢献する病院）に則り、看護部は「地域に暮らす人々と共に心あたかな医療を進め、質の良い看護を提供します。」を理念とし、患者ひとりひとりの気持ち、その人らしさを大切に患者に寄り添い看護を提供しております。

看護部は病院の中でも最も多くの人員がいる部門であり、現在約250名の看護職員・看護補助員が病棟・外来で働いておりますが、

看護の質向上のために「県立病院キャリア開発プログラム」に基づき看護教育の体制を整え、日々切磋琢磨しております。そのような看護の専門性が問われる中、当院でも認定看護師が誕生し活躍しております。

さて、3月11日に東北大地震に見舞われ、また、原発問題と我々の想像をはるかに超えた大惨事があり、今も多くの被災者が復興に向けて頑張っています。亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、1日も早い復興を願っております。

あの極限の状態での被災者の方々の強さ・優しさ・他の人々を思いやる心に感動し、人と人とのつながりや絆の強さも感じました。

私たちも地域の方々との連携を大切に、住み慣れた地域で医療が受けられ、安心して入院生活が送れ「この病院に入院して良かった。」と満足していただけるように、他の医療チームと協力し支援していきたいと思っております。

皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

薄紅の 葉はいち早く萌え出でて
咲かむとすなり 山桜花

若山 牧水



高血圧について

副院長（内科）

原 誠 一 郎

血圧ってなんだろう？

人間の体にはいたる所に血管が張り巡らされていて、その中で血液が絶え間なく流れています。血液を全身に送り届けるためにポンプの役割を果たしているのが心臓であり、心臓が血液を押し出す時に血管内にかかる圧力を「血圧」といいます。

どうして血圧は上昇するの？

心臓が強い力で血液を押し出すと血管にも強い圧力がかかります。また血管の流れがよくない場合も、血圧を上昇させてしまう事になります。血管が動脈硬化で弾力をなくし、脂肪分が内壁に付着し内腔が狭くなると心臓に負担がかかるため、結果として血圧を上げる結果となります。

なぜ高血圧はいけないの？

日本における死亡原因の第一位はガン（悪性新生物）となっており、次いで脳血管疾患や心疾患があります。高血圧自体による死亡率はこれらに比べるとずっと少ないのですが、脳血管疾患も心疾患も高血圧の合併症であり、これらの死亡率を合わせると高血圧が原因で起こる病気が日本人の死亡原因のトップというわけです。

高血圧が続くとどうなるの？

血圧が高い状態が続くと血管障害が起こりやすく、なかでも脳、心臓、腎臓に深刻な障害が起こります。脳血管に起こる障害としては、脳出血や脳梗塞、くも膜下出血などがあり、心臓に起こる障害として狭心症や心筋梗塞があります。また高血圧は心臓のポンプ機能に負担をかけるため、心肥大から心不全も起こりやすくなります。腎臓に起こる障害としては腎硬化症などがあります。

高血圧の症状とは？

高血圧には特にこれといった症状はありません。それが高血圧をあまく見て治療を怠っ

てしまう原因にもなっています。

日常起こる一般的な症状として、肩こりや頭痛、めまい、耳鳴り、動悸、息切れ、顔の火照り、吐き気などがありますが、これらの症状は疲れやストレス、風邪などでも起こりやすいので難しいところです。

本態性高血圧とは？

高血圧の9割くらいは原因がはっきりとわからず、本態性高血圧と呼ばれています。本態性高血圧の原因は1つではなく、遺伝的要因、加齢による血管老化の要因、環境的要因など様々な要因が関わりあって起こっていると考えられています。

二次性高血圧とは？

本態性高血圧以外で原因がわかっているものが二次性高血圧で、主に3種類あります。

1つは腎臓に異常があるために起こる腎性高血圧で、主に腎炎と腎盂腎炎を原因として起こります。腎炎は糸球体と呼ばれる尿を作り出す部分が炎症を起こし、尿をつくる機能が低下してしまう病気です。2つ目は腎臓の血管に異常がある腎血管性高血圧で、腎臓にいく血管が狭くなると、血圧が低くなったと腎臓が誤認して、血圧を上げ、血液量を増やすホルモンを多量に出すようになります。3つ目はホルモンの異常で起こる内分泌性高血圧です。

これからどうすればよいの？

どんな不快症状も体の不調を知らせるサインに変わりはないので、いつもと違う症状が続く時は医師の診察を受けるようにしましょう。

また症状の出ない初期のうちに高血圧を発見するには、年に1回は健康診断を受ける事が大切です。職場での健康診断や自治体で行っている健康診断を利用するようにしましょう。

『原発事故による住民の不安・恐怖心を取りのぞく』

放射線科 主査 緒方正徳

このたびの福島原子力発電所事故による住民の放射線のスクリーニングを宮崎県の第2班派遣職員として都城保健所の相馬所長と二人で避難所や県南保健福祉事務所を回りスクリーニングを行ってきました。(443名+ペット4匹)

3月28日(月)宮崎空港(9時45分発)から伊丹空港経由して、新潟空港に飛びレンタカーで3時間(200Km)かけて福島県庁に入りました。自治会館にある災害対策本部で受付を行い夜8時からのミーティングに参加し、先発の第1班から引継ぎを受けホテルに入りました。到着後、早速、余震(震度4)の歓迎が待っていました。(一瞬ビックリ)

《活動内容》

避難所、保健所等で住民の放射線のスクリーニングを行い、13,000 Cpmから100,000 Cpmレベルの住民については、除染をする。(それ以上は、本部に連絡し指示をもらう)(一日の流れ)

- ・午前8時から対策本部でミーティングに参加(当日のスクリーニング会場・担当班の発表、注意事項等)
- ・ミーティング終了後スクリーニング会場へレンタカーで移動(55Km~85Km)
- ・会場では、スクリーニング希望者の受付を行い、放射線測定器(GM管サーベイメーター)で住民の頭から足まで全身、最後に靴の裏までゆっくりスクリーニングする(靴の裏は、値が高い)
- ・スクリーニング済み証が欲しい方には証明書を発行する(避難所に入所する場合確認される)
- ・スクリーニング終了後、午後8時から対策本部で活動実績・気付いた点の報告、本日で活動終了者・新しい活動者の紹介などが行われる

・ミーティング終了後、ホテルに帰り持参した食材で夕食(レトルトと缶詰、昼食は、カップラーメン・カロリーメイトなど)

《活動をとおして》

・スクリーニングは、住民だけでなく洋服・バツ



スクリーニング風景

グ・ペット(犬)・車の希望もあった。

- ・立ち入り禁止区域以内でも家のタンスにあった物は大丈夫であったが、バッグや犬の背中から少し放射線の高い値がでたので洗い流すように指導しました。また、車については、マットやボディーを十分洗い流すように指導しました。
- ・家に残したペットの餌やり・荷物を取りに行かれるなど立ち入り禁止区域に入る方が増えている。立ち入り禁止区域に入ることによって被ばくの恐れがあるほか荷物等を持ち出すことで汚染を拡大させる危険性もあるので注意が必要と思われました。

しかし、当日は着の身着のまま避難されたので家財道具や通帳も持っていないという話を聞くと危険を承知で家に帰ることを止めることができない。

立ち入り禁止区域はまだ高い値がでているので避難生活が続くと思いました。

- ・私たちが宮崎県から来ていることがわかるとわざわざ遠い所からありがとうございますとお礼を言われた。

去年は、口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳の爆発で皆様から支援していただきましてありがとうございましたとお礼を言いました。

- ・この活動に参加して、住民の方々の放射線の不安や恐怖心を少しでも取り除くことができたのではないかと考えています。

原発問題が早くおさまり一日でも早く避難生活から解放されることを願っています。

※スクリーニング風景の写真より

- ・スクリーニングを行うことで、住民のほとんどの方は、放射線の不安・恐怖心が薄らぎ安心されていました。



緒方主査(左)と相馬所長(右): 測量会場にて

はじめまして！ そしてお久しぶりです。

日本医療事務センター
柿塚 壽子

皆様こんにちは、柿塚壽子です。

3月1日から相談員として勤務しています。私は昭和48年に県に採用となり、平成22年3月に定年退職するまでの37年間、助産師・看護師として勤務いたしました。勤務中は宮崎病院に26年、日南病院に8年、県立こども療育センターに3年勤務いたしました。日南病院には平成11年4月から19年3月まで看護管理者として勤務しました。電子カルテの導入に伴うあわただしくもわくわくした日々や、日南病院祭開催に向けて全職員で頑張った日々を今でも懐かしく思い出します。8年間の単身赴任を通して、日南や県南の人々の温かさややさしさにふれました。黒潮のうねりのように強く暖かい人々のエネルギーにすっかり魅了され、今では日南市民になりました。

退職後しばらくは、わたくしごとで忙しくなかなか仕事が考えられる状況にありませんでしたが、このたびご縁があって日本医療事務センターから仕事のお話があり、相談員として勤務することになりました。

仕事をお引き受けした理由は二つあります。一つは日南病院や日南の皆様方にお役に立つ仕事がしたい、もう一つは看護管理者としての経験をいかす仕事がしたいと思っていました。相談員の仕事はまさしくこの条件にぴったりのように思えました。

出勤は8時15分からです。毎日朝7時45分頃には出勤しています。身支度を整え、始業前に中央総合案内の再来機の準備やカウンターの日付や曜日を直し、めがねや筆記用具の準備などを行い、お困りの方がいらっしゃらないか見回し、必要であればお声

をかけるようにしています。一度医事課に帰り、朝のミーティングや当日の予定を確かめた後、手帳を持って再び玄関ホールに向かいます。初診や再来受付の支援、身体のご不自由な方へのお手伝いなど、さまざまな状況に合わせて対応をさせていただいています。また受診相談、苦情やクレーム等への対応も大きな役割の一つです。各診療科窓口や病棟での業務が少しでもスムーズになるとうれしい限りです。

「患者さんがお困りにならないように、少しでも気持ちよくお帰りになれるように、日南病院で働く職員が生き活きと仕事ができるように、病院と患者さんをつなぐ大きなパイプになり、みんなの日南病院を守っていく」これが私の目標です。

とはいえ還暦を過ぎ、身体もあちこちに修理が必要な時期になりました。心と体に相談しながら患者さんや地域の皆様とともに、日南病院の職員の一人として頑張っています。どうぞお声をかけて下さい。よろしくお願いいたします。



第二期宮崎県病院事業中期経営計画の概要について

病院局では、平成23～25年度の3年間を「県立病院を取り巻く諸課題に的確に対応し、経営改善を図るための礎を築く重要な時期」と位置づけ、その運営目標と目標を達成するための具体的な取組を定めた「第二期宮崎県病院事業中期経営計画」を策定しました。

その概要を日南病院に関係することを中心にお知らせします。

1 県立病院の役割と機能は？

県立病院は、それぞれ置かれている地域の医療事情は異なるものの、医療資源の乏しい本県の現状を踏まえると、今後とも、全県レベルあるいは地域の中核病院として、次のような役割・機能を担っていく必要があります。

- ① 多数の診療科の連携による総合性を活かした医療の提供
- ② 法令等に基づき対応すべき医療の提供
- ③ 地域の医療機関との連携強化・地域医療の確保

2 では、日南病院は？

日南申間医療圏において総合的な医療を提供できる唯一の医療機関として、今後とも、地域の医療機関との連携を一層強めるとともに、高齢化が進む同医療圏域内の患者動向等を踏まえながら、急性期医療や高度医療、救急医療等の診療機能の確保に努めていきます。

3 事業運営の基本方針と収支目標は？

本県の医療資源の現状や県立病院の地域医療に果たす役割の大きさ等を踏まえ、今後とも県立病院が将来にわたり持続的、安定的に良質な医療を提供していくためには、職員一丸となってしっかりとした経営基盤を確立していく必要があるため、次のとおり基本方針及び収支目標を定め、円滑な事業運営を図ります。

(1) 基本方針

- ① 県民（患者）にとって「魅力ある病院」づくりの推進
- ② 職員が一丸となった病院改革の推進
- ③ 経営改善の更なる推進

(2) 収支目標

医師等のスタッフ確保に努めながら、各病院の経営改善を推進することにより、逐次単年度収支の改善を図っていくこととし、計画の最終年度である平成25年度には、事業全体における収支均衡化を目指します。

	平成22年度 決算見込み	平成25年度
宮崎病院	42	209
延岡病院	▲394	▲24
日南病院	▲277	▲95
合計	▲629	89

(単位：百万円)

*合計が一致していないのは、それぞれの数値で四捨五入を行っているため

4 今後3年間で日南病院は主に次のようなことに取り組んでいきます

(1) 県民（患者）にとって「魅力ある病院」づくりの推進

- ・ 医師確保のため、大学医局への派遣依頼を行うとともに、他の県立病院等との連携を強化するなど臨床研修医研修体制の充実を図ります。
- ・ 患者サービスの向上を図るため、職員の接遇の向上、苦情再発防止策を強化します。
- ・ 地域の医療機関との連携を強化するとともに、地域の中核となる施設としての機能の向上を図ります。特に、紹介率の向上対策に取り組み、「地域医療支援病院」承認を目指します。

(2) 職員が一丸となった病院改革の推進

- ・ 一人一改善運動、一所属一改善運動、TQM活動など職員提案型事業に積極的に取り組みます。
- ・ 診療支援チーム（栄養サポート、院内感染対策、医療安全、緩和ケア、退院調整等）の活動内容の充実を図るなど、チーム医療の推進を図ります。

(3) 経営改善の更なる推進

- ・ DPCデータの分析・評価を行う体制を構築し、分析結果をもとに効果的な病院経営を行います。
- ・ 収益確保を経営改善の柱と位置付け、新たな施設基準の取得に努めるとともに、請求漏れ・査定減防止の取り組みを強化します。また、医事業務委託業者との院内連携や分析・評価体制の強化を図ります。
- ・ 後発医薬品採用の推進に努めるほか、診療材料についても、より一層の節減に努めるなど、材料費の更なる節減に取り組みます。

医療機器について



臨床工学科

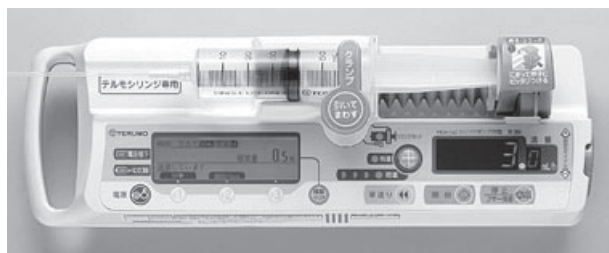
皆さん、こんにちは。以前、臨床工学技士の業務についてご紹介させていただきましたが、覚えておいででしょうか？

今回は、私たち臨床工学技士が当院で管理をしている医療機器の一部について、ご紹介させていただきます。

輸液ポンプ・シリンジポンプ



輸液ポンプ



シリンジポンプ

写真の医療機器は、輸液ポンプとシリンジポンプといわれる機器です。見覚えのある方もいらっしゃると思います。

この機器は2種類とも点滴などとして薬剤を血管内に持続的に注入するときに使用されます。これらの機器の利点は、医師の指示通り正確に注入できるということです。

これらの機器の登場によって微量で注入しなければならない薬剤などの実施が安全にできるようになりました。輸液ポンプとシリンジポンプの精度上の違いは、輸液ポンプは±10%、シリンジポンプは±3%の誤差となっており、シリンジポンプの方が流量の精度が高く設計されています。

しかし、これらの機器も正しく保守管理をしておかなければ安全に治療が行えません。そのため、臨床工学技士が定期点検（年1回）

や使用前点検（使用時には毎回）を実施しています。点検の内容としては機器メーカーの手順に基づき、流量精度・閉塞圧・バッテリーの点検などを行い、機器の安全管理や異常の早期発見に努めています。

人工呼吸器



人工呼吸器

上の写真は、人工呼吸器です。この機器はなんらかの理由により自分で呼吸ができない場合に使用されます。普段、私たちはあまり意識することなく呼吸を行っていますが、すべて神経の支配によって行われています。また、筋肉や横隔膜なども関わり合って呼吸が行われています。そのため、肺が病気になったときだけでなく、神経や筋疾患にかかった時にも自分で呼吸ができなくなってしまいます。また、直接的に呼吸に関する病気ではなくても、手術のときに全身麻酔を実施する場合、麻酔中は呼吸が止まってしまうので、一時的に人工呼吸器を使用します。（麻酔器に人工呼吸器がついています。）

先ほどのポンプ類同様、安全に使用できるように使用前・使用中・使用後点検およびメーカーによる定期点検を適宜実施しています。

今回は臨床工学科で管理している医療機器の一部を紹介させていただきましたが、院内にはまだまだ多くの医療機器があります。今後とも医療機器を通して日南病院を利用して頂く方々の安心安全な医療の提供に努めていきたいと考えていますのでこれからもよろしくお願い致します。

平成23年度の当院の主な動き（行事予定）について

1 定例会（毎月定期的に開催されます）

会議の名称	開催日程等	会議の名称	開催日程等
病院運営会議	毎月第1・第3月曜日	褥瘡対策委員会	毎月第4金曜日
経営改善検討委員会	年3回	業務委託関係者連絡会議	偶数月第4金曜日
医局会	毎月第3水曜日	師長会議	毎月第1・第3月曜日
代表者会議	毎月第4木曜日	副師長会議	毎月第1金曜日
臨床懇話会	毎月第3水曜日	看護部教育委員会	毎月第2火曜日
役員会	毎月第2木曜日	看護記録委員会	毎月第4木曜日
院内感染症対策委員会	毎月第3月曜日	医療安全管理委員会	毎月第4木曜日
リスクマネジメント部会	毎月第2月曜日	安全衛生委員会	毎月第2火曜日
薬事委員会	奇数月第1水曜日	手術室運営委員会	毎月第1木曜日
診療材料検討委員会	毎月第2木曜日	緩和ケア委員会	毎月第2水曜日
NSTワーキング会議	毎月第4金曜日		

2 主な行事予定

年月	行事名等
23年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式 ・定期異動者、新規採用職員オリエンテーション ・23年度当初予算及び22年度決算説明会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度決算ヒヤリング ・監査事務局監査 ・広報編集委員会 ・DPC委員会 ・「看護の日」ナイチンゲール像花飾り
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断・監査委員監査 ・交通安全講習会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾り ・ふれあい看護体験
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・南睦会総会 ・サマーインターンシップ
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・病院祭実行委員会 ・医療監視
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・病院祭実行委員会 ・こどもスケッチ大会 ・県立病院職員レクリエーション大会 ・放射線従事者健康診断
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・病院祭 ・インフルエンザワクチン接種
23年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもスケッチ大会表彰式 ・クリスマスコンサート ・深夜業務従事者健康診断 ・特定業務従事者健康診断 ・仕事納め式
24年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事始め式 ・災害医療総合訓練
2月・3月	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線業務従事者教育訓練 ・院内顕彰委員会 ・TQM活動成果発表会 ・放射線業務従事者健康診断

外来診療日程表

県立日南病院 平成23年6月

1階

内循環器科	月	火	水	木	金
内科初診	原	原	原	原	原
膠原病初診 午後		田中(弦) 13時~15時			
循環器科初診	黒木	大窪	黒木	小山	小山
再診	小山	西	小山	黒木	
再診	平塚	平塚	田中(弦)	西	西
再診	田中(弦)	石崎		石崎	黒木
再診	石崎	椎屋	ペースメーカー 外来(奇月) 黒木・小山	椎屋 (午後)	平塚
内視鏡					松本(英)
透視	西	西	西	西	西
気管支鏡				平塚 田中(弦)	
心カテ 検査(午後)		黒木・大窪 小山			黒木・大窪 小山
心エコー		黒木 小山		大窪	
ペースメーカー 手術			黒木・大窪 小山		

※内視鏡(金)は宮崎大学医学部の医師による診察

放射線科	月	火	水	木	金
診察		田中		古賀	
検査日	○	○	○	○	○

外科	月	火	水	木	金
一診	市成	帖佐	田代	市成	帖佐
二診	峯		峯		峯
三診	阪口				
手術日	○	○	○		○
透視				○	
内視鏡		○		○	
ストーマ外来	○		○	○	

※外来手術(月曜日の午後)

※ストーマ外来(月・水・木曜日 予約制)

脳神経外科	月	火	水	木	金
再診	齋藤	米山	宮田		齋藤
初診	米山	宮田	米山		宮田
紹介・急患	宮田	齋藤	齋藤	○	米山
手術日				○	

整形外科	月	火	水	木	金
一診	初診	大倉	松岡	松岡	初診
二診	松岡	三橋	初診	三橋	大倉
手術日	午後	午後		午後	午後

神経内科	月	火	水	木	金
診察				塩見	

精神科 心療内科	現在休診中
-------------	-------

2階

小児科	月	火	水	木	金
一診	木下	木下	木下	木下	木下
二診	管	管	管	管	管
検診日		午後2時から			午後2時から

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金
診察	下園	下園	下園	下園	下園
検査日		午後		午後	午後
手術日	○				

眼科	月	火	水	木	金
一診	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤
二診	荻野	荻野	荻野	荻野	荻野
検査日		午後	午後		午後
手術日	午後			午後	

泌尿器科	月	火	水	木	金
一診	新川	新川	新川	新川	新川
二診	永井	永井	永井	永井	永井
検査日	○		○		
手術日	○				

皮膚科	月	火	水	木	金
一診		☆			☆

☆宮崎大学医学部の医師による診察

産婦人科	月	火	水	木	金
一診	川越	川越	川越	川越	川越
二診	山内	山内	山内	山内	山内
手術日		○	○		

通信欄

☆循環器科で医師の変更があります。

編集後記

新年度になり、当院も新たに職員を迎え、経営改善に向けて職員一丸となって取り組んでいく所存です。

国内では、東日本大震災の復興に向けた動きが活発です。県内では、今年、既に台風2号が到来しました。日ごろから災害発生に対する準備と心掛けをお互いに忘れないようにしましょう。

(広報編集委員会)